

センター長挨拶

2012年度からセンター長を拝命いたしました小島です。聖隷クリストファー大学保健福祉実践開発研究センター年報第3号(2011)の刊行にあたり、ご挨拶させていただきます。

2009年10月に開設された当センターの活動は、2012年度の現在4年目に入っており、当年報では2011年度の実績を報告しております。

2011年度の地域貢献研究事業費の採択数は6件で、2010年度に比べると件数は減りましたが、募集時に対象となる研究事業の考え方と配分総額、および審査基準を従来よりも明確にしたことで適切な配分ができたものと考えております。この6件の研究事業の報告書は当年報に掲載し、また、報告会は例年11月に行われます聖灯祭・ホームカミングデー同日にポスター形式で行っており、地域の皆様や卒業生にご覧いただいています。制度開始から3年が経ったこの地域貢献研究事業費は、2012年度から、地域の実践現場とともに共同で行う「研究」に重点を置き、その研究成果を地域へ還元することを目的に、「地域貢献事業研究費」と名称を改めて取り組んでいます。そして、研究成果や教員の地域貢献活動の情報を今後積極的に発信してまいりたいと考えています。

公開講座については、2011年度は過去の計画や実施状況の反省を活かし、時勢やニーズに合ったテーマ設定をし、テーマに応じた適切な集客目標を立てて実施しました。いずれもほぼ目標どおりの集客ができ、受講者の満足度も高い結果が得られました。今後も引き続き、専門職向け、市民向けともに皆様のニーズに応えられる講座を開催していきます。

地域の専門団体や施設、行政から当センターへの講師や委員の派遣依頼は年々増加しており、地域で果たす本学の役割を拡大することにつながり、大変喜ばしいことと感じています。これからも保健福祉実践開発研究センターが地域の皆様から必要とされ、“地域と歩む”実践ができますよう、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2012年11月

聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター
センター長 小島 千枝子